

人権だより 柳 に 風

柳に風とは、柳が風になびくように、何事もしなやかに受け流す柔軟性があることの意から、風評やうわさに流されず、思いやりと優しさにあふれた確かな人権文化を根付かせたいという思いから名付けました。



ごあいさつ

私たちは「人間が人間らしく幸せに生きていくための権利」が守られ、夢や希望に向かって前進しているときに幸せを感じます。そのためには、人権の尊重が日常生活の中で自然に態度や行動に表れるようになることが大切です。

校区にお住まいのみなさまとともに、自分の人権だけでなく、他人の人権も大切にするために考える機会になればとの願いを込めて人権だよりをつくらせて頂きました。



平成26年度(2014年度)

川西小学校区コミュニティ推進協議会 人権部会長 石田英男
川西小学校区人権啓発推進委員会 委員長 秋田修一

校区の人権標語が決まりました！

全118作品の応募の中から、人権部会、人権啓発推進委員会の委員のみなさんの厳正な審査により、平成26年度の川西小学校区の人権標語が決定しましたので、みなさまにお知らせします。

< 最優秀賞 >

いつか来る 老いを想える 思いやり (田淵泉子さん・小戸)

< 準優秀賞 >

大切に… 誰かを想う そのころ (秋田修一さん・小花)

< 優秀賞 >

独りでは すくえぬ命 地域の輪 (福西純代さん・小戸)

< 入賞 >

人助け 勇気を持って 第1歩 (永野有加子さん・川小PTA)
ありがとう 見知らぬ人と たすけあい (田中富雄さん・小花)
思いやり 互いにもてば 差別なし (中元一二三さん・小戸)
助けてと 勇気を出して 伝えよう (安藤秋子さん・ふれんど)
しない させない 意味ない 差別 (神藤早苗さん・栄根)
人権は みんなの意識の 積み重ね (石田英男さん・小戸)
いじめとは 人の心を 奪うもの (川西つかささん・川小PTA)
人とひと 認め合うのが 人権だ! (秋田修一さん・小花)
自分の言葉 一度考え 声に出す (水谷元則さん・総合センター)
あいさつは いつでも先に わたしから (前中豊さん・小花)

認知症徘徊模擬訓練に参加しました！

講演会の翌週 11月22日に実施

認知症についての知識を講演会で得た後、実際に認知症徘徊者がいた場合の設定で、参加者全員でどう対処すればいいのかを訓練しました。

まず最初に、主催者による寸劇でモデルケースを見て頂きました。包括支援センターの職員扮する認知症の方や女装した主婦が参加者の笑いを誘っていました。

そして実際に川西小学校の敷地全部を使って声かけ訓練。みんな初めてのことで、緊張して言葉がでない場面も…。



模擬訓練に当たっての事前説明



寸劇の風景♪

実は、演じている人も楽しんでます。



声をかけている場面。認知症を演じている方の演技が最高でした。



川西市人権教育研究大会で発表！

ともに活動をして来た川西小学校 PTA の委員のみなさんが、本年度研究大会の発表校に当たっていたため、講演会と訓練、さらに学校内で子どもたちを含めて各家庭にアンケートをとった内容を盛り込み、パワーポイントにて発表をしました。そのあとは質疑応答、意見交流の場となりましたが、参加者のみなさんより取り組みについての高評価を頂きました。



人権研究大会とは、年に一度、市内で活動している全ての人権関係団体が集結し、テーマに沿った活動をし、その成果について発表をする場所です。本年は2月18日に開催されました。

会の最初には記念講演「とことん！人権問題」～人権啓発って何だろう～角岡 伸彦さん（フリーライター）が開催されました。





高齢者の人権を考える 知っておきたい認知症！

～認知症サポーター養成講座を兼ねて～

平成26年11月13日（木）10時から川西小学校やなぎホールにて表題のとおり講演会を開催したところ、PTA会員41名、地域の方々50名と過去最高の参加者がありました。やはり今最も関心が高く、社会問題としても大きく取り上げられている内容だからでしょう。

講演の内容は、認知症の詳しい説明を中心に、その対応の仕方やご家族の対処の方法、とりわけ「つながりノート」という取り組みを川西市では推し進めていることなど、映像やビデオを織り交ぜながらお話を頂きました。

認知症ご本人には自尊感情があり、人権意識をみんなが持たなければ、ご本人やまわりも傷つくことがあります。どう病気と付き合いながら、進行を遅らせ、寄り添っていくかが本当に大切です。

この講演を聞いて頂いた方には、認知症サポーターとしての講座を受けたことにもなり、その証明としてオレンジリングを受け取って頂きました。

だれもが、安心して、生活のできる社会をみんなで作っていきたい！そんな想いでこの講演会を、様々な団体と連携して開催をさせて頂きました。

本当にありがとうございました！



講演会の様子です♪

講師：藤末 洋さん

(川西市医師会 副会長)

藤末医院 院長

川西小学校区にお住まいのみなさま
平成26年10月16日

知っておきたい認知症！
～認知症サポーター養成講座を兼ねて～

忘れ果す季節となりましたが、みなさまいかがおすごしでしょうか？
恒例である「人権講演会」を本年も下記の要領にて開催させて頂きます。お忙しいとは思いますが是非ご参加ください。

パート1 講演会
日時：平成26年 11月 13日（木） 10：00～（受付9：30）
場所：川西市立川西小学校 やなぎホール
講師：藤末 洋 さん（川西市医師会 副会長・藤末医院 院長）

超高齢社会を迎え、社会問題として大きく取り上げられていく認知症について、高齢者の人権という観点も踏まえ、正しい知識を学んで頂き、どう対応していくか、どのような受け止め方をしていくか、これからどんなことのできるかなど様々な角度から考えていきたいと思います。

藤末先生の講演のあと、川西小地区福祉委員会キャラバンメイトのみなさんによる認知症サポーター養成講座を受けて頂きます。講演会終了後は、認知症サポーターとしての受講証明であるオレンジリングを递呈させて頂きます。

パート2 体験会・認知症理解対応検定訓練
日時：平成26年 11月 22日（土） 10：00～（受付9：30）
場所：川西小学校 やなぎホール
内容：体験者への声の掛け方などロールプレイングを交えて体験します。

パート1主催：川西小学校PTA 会長 前田 早希 ・ 教育部 前田 美和
川西小学校区コミュニティ推進協議会 人権部会 部長 石田 英秀
川西小学校区人権啓発推進委員会 委員長 秋田 裕一
川西小地区福祉委員会キャラバンメイト連絡会 代表 岡崎 由美子

パート2主催：川西小地区福祉委員会 委員長 岸本 敏子

川西小学校区全域に、回覧していただきありがとうございました。

これからも講演会は毎年開催致しますので是非ご参加下さい。

龍安寺の石庭が伝えてくれるもの…

右の写真は京都 龍安寺の石庭です。当時の「山水河原者」と呼ばれる差別をされてきた人たちの手により作庭されたものです。この石庭は、日本の良き伝統文化が、このような人たちに支えられてきたことを教えてくれています。

立命館大学 国際平和ミュージアム

戦争と平和について、ボランティアガイドに付いて頂き説明を受けました。館内では、太平洋戦争・ベトナム戦争・パレスチナ紛争に至るまでたくさんの資料が展示されていました。

戦争というものは、他国の人命と文化を瞬時に奪ってしまう最大の人権侵害であるということ学びました。



男女共同参画社会の実現に向けて…

(仮称)川西市男女共同参画条例(案)要綱が、策定され、2月から3月にかけてパブリックコメントの募集が行われました。市民のみなさま、議会での意見などをふまえて、再度修正を加えた後に、正式な議案として上げられることとなります。

審議が通り、施行されることになっても劇的に変化を遂げられるかどうかは、条例や行政施策にもよりますが、それ以上に市民一人ひとりの意識の向上、高揚が必要です。

まずは、日々の自分たちの生活の中から見つめて頂きたいものです。

人権啓発活動に興味のある方は是非お申し出下さい。校区委員も募集中！お待ちしております。

問い合わせ先:

川西小学校区人権啓発推進委員会 委員長 秋田修一
TEL/FAX:072-758-2456 HP:080-5305-0409



みなさんご存知ですか？

毎月第3金曜日は
川西市の「人権デー」です

川西市では、12名の人権擁護委員さんが活動をしています。

法務大臣から委嘱を受けて、日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図り、人権を擁護していくという役割を担っています。